高等部道徳科学習指導 『貼り絵に思いを込めて』

**１　主題名**　感動を伝える　D-（21）　感動　畏敬の念

**2　ねらいと教材**

（1）ねらい

・感動を伝える

・美しいものや自然、芸術作品等に感動する心をもつ。

・美しいものや芸術等に触れ、感じた思いを自分なりの表現で伝えることの大切さや喜びを知る。

（2）教材　　貼り絵に思いを込めて　（P98-１０１）

**３ 主題設定の理由**

本主題は、以下の中学校新学習指導要領「特別の教科 道徳」（平成２９年３月告示）の内容項目のねらいを受け、個々の生徒の知的障害の状態、生活年齢、学習状況及び経験等に応じるとともに、青年期の特性を考慮して、健全な社会生活を営む上に必要な道徳性を一層高めるために、適切に指導の重点を定め、指導内容を具体化した。

|  |
| --- |
| D　主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること　（２１）　感動、畏敬の念  美しいものや気高いものに感動する心をもち、人間の力を超えたものに対する畏敬の念を深めること |

1. ねらいとする道徳的価値について【価値観】

体験活動等における、自然の織りなす美しい風景や優れた芸術作品等の美しいものとの出会いを振り返り、そこでの感動や畏怖の念、不思議に思ったことなどの体験を生かして、人間と自然、あるいは美しいものとの関わりを多面的・多角的に捉えさせることが大切である。

（２）生徒の実態について【生徒観】

言葉でのコミュニケーションがおおむね可能である生徒を対象とする。体験的な活動を取り入れたり視覚的、聴覚的な教材を用いたりし、言葉での理解が難しい生徒にもねらいが伝わるように配慮する。

日常の学校生活においては、総合的な探究の時間等を中心として進める。修学旅行や移動教室などで、自然の美しい景色に触れる機会があるようならば、行事の事後学習とも関連付ける。また、美術科とも関連させ、美しい絵画や造形作品などを鑑賞し、学習したことを広げていくことも大切である。

（３）教材について【教材観】

画家の山下清さんが旅先で出会った景色などを貼り絵の作品にしていくが、絵を描くためではなく、きれいな景色やめずらしいものを見るために旅に出ている、という山下さんの言葉を通して、絵画や文芸、または音楽などの芸術作品に触れ、その美しさを感じる心を育成する題材である。

まずは、生徒の体験に基づいて、修学旅行や移動教室などで出会った美しい景色や、自然の不思議さについて、どんな風景があったか質問をする。そのあと、本文を読んで、山下さんの作品の美しさに触れるとともに、何故山下さん自身が作品にして思いを残したのかを教科書に記入することで、芸術作品を美しいと感じる心を育み、またその心を表現することの大切さを学習することのできる教材となっている。

**４　学習指導計画**

（1）全体計画　１時間（本時）

（2）準備　　山下清さんの作品の画像、補助プリント、あらかじめ学習で作成した絵や掲示物などの作品

（3）指導過程

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 段階 | 時間 | 学習活動（主な発問） | 予想される生徒の発言 | 指導上の留意点  ☆評価の観点 |
| 導  入 |  | １　修学旅行や移動教室先で見た印象に残っている風景について質問する。  （移動教室では○○に行きましたね。どんな風景が印象に残っていますか。その風景を見て、どう感じましたか） | ・高尾山がすごかった  ・沖縄の海です  ・迫力があった  ・大きかった  ・綺麗だった  ・水が透きとおっていた | ・移動教室等で見た風景のどんな点が印象に残っているかを確認し合う。  ☆印象に残っている風景等について発言しているか。  （思・判・表）  ・生徒の発言を板書で残しておく。 |
| 展  開 |  | 2　山下清さんの作品『長岡の花火』を見る。  ・教材を範読する  〇作品を見て、どう感じましたか？  ・本文P100の欄に自分や友達の考えを記入する。  〇山下清さんは何故、旅先の風景を作品にしようとしたのでしょうか。  ・本文P.100の欄に自分や友達の考えを記入する。  〇みんなも、移動教室等で、きれい、感動した、びっくりした風景に出会いましたね。その思いを、どんな形で表現できるでしょうか。  〇生活単元学習や、美術、国語の時間に絵や作文、掲示物で振り返りを行ったのは、感動を人に伝えるたり、感じた思いを表現するためだったのです。  皆が作成した作品を見てみましょう。 | 課題　山下清さんが何故出会った景色を作品として残したのか考えよう  ・きれい  ・本物みたい  ・キラキラしている  ・綺麗だと思ったから  ・忘れないように  ・感動したから  課題　自分だったら、感動した気持ちをどう表現できるか考えてみよう。  ・絵に描く  ・作文に書きます  ・家族に言葉で伝える  ・写真を使って伝える  ・掲示物を作りました | ・モニターに大きく映し、よく見えるようにする。  ☆作品を見て感じたことを発表しているか。  （思・判・表）  ・山下さんが制作している写真を提示する。  ☆山下さんの思いを想像し、自分の考えを発表しているか。  （思・判・表）  ☆自分の考えを発表したり、友達の考えを聴くことができたか。  （思・判・表）  ・生活単元学習や、美術、国語の時間に学習した作品等を提示し、皆が感動した風景や、感じた思いを表現したことを共有し合う。 |
| 終  末 |  | 3　自分たちも、経験する中で感動した思いを表現することのすばらしさに気付けるようにする。  〇皆さんの作品はどうでしたか。  〇皆さんも美しい風景などを見て、感動した気持ちを表現できていました。  今後も、たくさんの自然や、芸術に触れて、感じたことを伝えていきましょう。 | ・上手だった  ・きれいだった  ・思いが伝わってきた |  |

（4）終末での教師の説話例

山下清さんの作品の美しさに触れ、心が動いた経験を振り返る。また、山下清さんが何故美しいと感じたものを作品にしたのかについても振り返り、芸術作品等に触れて、感じた思いを伝えることの大切さについて学ぶ

身近な例として、移動教室や修学旅行で出会った風景などについて共有し、各授業で絵を描いたり、作文したりする。

今後も、自然や芸術に触れていくように伝える。